

2019年度しょうえい幼稚園自己評価表 学校法人沼津頌栄学園 しょうえい幼稚園

評価者 園長 石川 望・教職員 13名

1 経営理念

経営理念	キリスト教保育 創造(自由)保育(統合保育)	あそび・あそぶ・あそぼうから創造(自由)保育へ —みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—
------	---------------------------	--

2 経営目標・評価項目・評価

☆評価基準 よくできている ◎ できている ○ あまりできていない △ 全くできていない ×

	経営目標	評価項目	評価基準				達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
			◎	○	△	×		
つな がる 基 礎	1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。	教師は礼拝・お祈りを楽しい中にも静かにいき、子どもたちの心を落ち着かせる。	5	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達はいつも教師の言動を見て、聞いているので、模範になるよう意識したい。 もう少し子ども達が心を落ち着かせるための導入や工夫が大切。 合同礼拝や給食前の礼拝で手を合わせてお祈りすることができるようになった子が増えてきたので、引き続き落ち着いた雰囲気の中やっていきたい。 心を落ち着かせ礼拝ができるように心がけたが、少しザワザワとしたり、心がおちついていないと思える時もあった。 静かに心を向けられるようになってきた。 	
		教師は、子どもたちが自由遊び後、スムーズに片づけられるよう促す。	6	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 対応にメリハリをつけたい。 声かけで片づけをすることができるようになり、「ないない」と言いながら楽しそうにしている。気分がのらず片づけをしない子がいる時にはやる気ができるような声かけをして一緒に片づけをしていきたい。 「まだ遊びたい」「製作あそびで完成してから片付けしたい」という気持ちを受けとめながら、片づけを促すのがむずかしい。 もっと明確な声掛けをしたいと思う。 (片付け苦手な子に対して) お片付けしよう→○○をしまおう 片付けも遊びの延長で楽しめるよう工夫している。ゴミ拾い名人が増えた。 子ども達に片付けも楽しくできるよう声をかける。 	
		教師は、子どもたちが園生活のきまりが身に付くように援助すると共に、遊びを通して信頼関係を築く。	5	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 歩くことができるようになり、外から帰ってきた後から給食の準備までの流れが身につくことができた。また遊びを通して信頼関係も築くことができたので、引き続き子ども達と一緒に過ごしていきたい。 一緒に鬼ごっこや砂場でおうちごっこを楽しむなどして、子どもとたくさん関わろうとしている。 子ども達と遊び、関係を築く。 	
		教師は子どもたちが保護者と離れる寂しさや友だちとけんかした時の悲しさ、その他様々な気持ちや思いを受け止め、共感する。	7	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> できていると思う。 おもちゃや本の取り合いでケンカになってしまうことがあるので、同じおもちゃを用意したり、本と一緒に読んだりするようにしてきた。気持ちを受け止め、共感し、子ども達が安心してすごせるようにしていきたい。 子ども達の気持ちを受けとめながら、「かなしかったね」など声をかけ一緒に解決している。 	
		教師はできるだけ毎日絵本の読み聞かせをする。	7	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> できていると思う。 朝のおあつまり、食前など日々の読み聞かせの時間を子ども達も楽しみにしています。 時々、読めない日があったので、気をつけていく。 お帰りの時、朝の礼拝の時に絵本を読むようにしている。 全体で絵本をみる事がない日もあり、そのような日は自由遊び中に少人数で読むようにしたいと思う。 	
		教師は、絵本の貸し出しや絵本の読み聞かせを通し、子どもたちがたくさんの絵本と出会うよう努める。	6	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> できていると思う。 子ども達は本を読むことが好きで、毎日読み聞かせをすることができている。 また、給食前にも読んで心を落ち着かせるようにしているので引き続き行っていく。 クラス別で絵本貸し出しをして、少人数でゆっくりと絵本が選べるように心がけている。 もう少したくさん絵本を読む時間をとりたい。 	

		教師は、子どもたちがお集まりや活動に積極的に参加できるように促す。	5	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを変えるのではなく、教師側の声かけ・態度・意識を変えたい。 子ども達の様子を見ながらなるべく参加できるようにしているので、引き続き行っていきたい。 クラスの中で、教師同士分担を決めていた。(ピアノを弾く人、子どもと座る人、子どもを集める人) 集まりや活動の導入に工夫があると、子ども達の反応や意欲に影響して積極的に参加している。 前の活動からなかなか切り替えが難しく参加できない子どもの気持ちを受けとめながら対応しているが、援助が足りず、促せない時もある。 	
		教師は、子どもたちが遊びや活動を通し、たくさんの友だちとふれあい、仲を深めるよう支援する。	6	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 早朝・延長保育や活動を通して、0才～5才までのお友だちが交流していると思う。 お部屋に遊びに来てもらったり、行ったりして交流し、友達と手をつないで遊ぶ姿が見られた。これからも交流を深めていきたい。 色々な子どもに声をかけ、遊べるようにしている。 	
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師は、子どもたちが動物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じるよう見守る。	2	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> あひるが死んでしまったり、植物を折ってしまったりする中で、少しずつ動植物の命の大切さも知ってほしい。 動物の誕生・成長・死についてあまり話にださずにいたので、今後、生や死、成長などを機会があったら話していきたい。 お部屋で、カニ・ザリガニの赤ちゃんを育てていた。 毎日、エサやり・水かえを子ども達と行った。 夏の時期のカブト虫、獲った魚などのお世話の仕方、大事にしていきたい。 クラスの生きものの飼育を経験したり、あひる・うさぎのお世話などを通し、生きものとの関わりを増やしている。 あひるが死んでしまった時には、あひるのことを考え、お祈りしている。 虫や魚をとってきたあとの管理があまりできていなかったと感じる。 飼うからにはしっかり行いたい。 お部屋で虫などを飼ってみんなで育て観察する。 	飼育用水槽などの置き場によって、管理意識が高まると思う。 責任を持って飼育してもらいたい。

	経営目標	評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師は、絵本などを通して子どもたちが平和への思いを強められるよう努める。	1	7	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 病気の方、被災された方などのことを思い、お祈りすることがそこにつながると思う。 『みんなだいすき』『だいじょうぶ だいじょうぶ』など社会のニュースに合わせて読んだ。 小さいなりに思うところがあったようだった。 絵本などを使って、平和へ思いを高められるように話をするのができなかったため、子ども達に分かりやすく伝えられるようにしていきたい。 平和の絵本を読んでいきたい。 平和についての絵本はあまり読むことがなかった。 絵本の選択や読み聞かせの時間が少なかった。1日に1回は絵本の時を持つようにしたい。 	平和がテーマの絵本は少ないと思われるため、平和を考えるきっかけは絵本でなくても良い。 例えば、難民支援等の現実の社会問題をテーマにすることも必要。 日本は平和だが、世界では紛争が起きたり、飢餓や感染症で苦しんでいる人々がいるということ子ども達にも教えてあげてほしい。
		教師はそれぞれのこどもの発達に合わせ適切な対応・指導ができるよう学び合う。	2	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 教師同士、姿を見て学び合っていきたい。 毎月の個別指導案を副担任・主幹と共有している。 言葉遣いに気をつけながら子ども達に分かりやすく伝えられるように努めてきた。 これからも引き続き子ども達に合った指導や対応ができるようにしていきたい。 先生方と話し合い、声のかけ方・対応の仕方を統一できるような心がけていた。 標準的なものにとらわれず、個々の成長を大切にしていけることを理解し合えるようにしたい。 ひとりひとりの発達に応じて声をかけたりしている。 	
		教師は、子どもたちが自分の意見や考えを出すことができるよう受け止め、同時にお友だちの意見を聞いたり思いを感じることができるよう促す。	3	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の思いを受け止め、友達に分かりやすく伝えられるようにしてきた。 まだ子ども達の思いを感じることができていない部分もあるので、表現やしぐさなどをよく見て感じとれるようにしていきたい。 	

<p>1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ちあう関係を作る。</p>	園は、しょうえいだより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・保護者に見やすく伝わりやすい色づかいで良いと思った。しょうえいだよりでは写真の配置・文の構成があまり良くないので、今までのおたよりを見てもっと学んでいきたい。 ・しょうえいだよりを楽しみにしてくださっているおうちの方も多く、カレンダーでは、月の予定を把握できて良い。 	
	園は学期に1回保育参観を行う。(3.4.5才)送迎時、保護者とのコミュニケーションをとる。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・保護者と会話をし、子どもの様子などを話してコミュニケーションをとることができた。引き続きコミュニケーションをとれるようにしていきたい。 ・送迎時、時間がある時は、子どもの様子を伝えられるよう心がけていた。 ・連絡帳ではなく、直接話をするように心がけている。 ・日々のコミュニケーションを大切にし、小さな事でも気軽に相談してもらえるようにしたい。 ・送迎の時に、保護者の方と日々の様子をお話ししてコミュニケーションをとっている。 	
	保護者への講演会を年1回行う。	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・また講演会に参加したことがないので、どういう雰囲気で行うのか分からないですが、もし参加する時には保護者に子ども達の様子を分かりやすく伝えられるようにしたい。 	
	園はホームページ・ツイッターで広く幼稚園を公開する。	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・ほぼリアルタイムで園行事やその日のたのしいことをツイートしていて、保護者も園生活の様子を知ることができ嬉しいようです。 ・ホームページやSNSで多くの人々に知ってもらえていることは良いことだと思う。もっと知ってもらえるような働きかけをしていきたいと思う。 ・自分のクラスはなかなかできていないが他学年はできているので来年度はもう少しこまめに写真を撮るよう心がけたい。 ・なるべくツイッターでのせられるようにした。 ・活動をした時などツイッターに写真と一緒にあげている。 	
	保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	6	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・話し好きの方とそうでない方、バスの方…とかたよらないようにしたい。 ・送迎時に子どもの様子などを聞き、コミュニケーションをとり、信頼関係を少しずつ築くことができるようになってきた。引き続き保護者との会話を大切にしていきたい。 ・送迎時の会話以外にも、毎日(012定期的)連絡帳を書いているので、担任は大変ですがおうちの方には成長を喜んでもらえていると思う。 ・なかなか直接会えず難しい。 	
	園の行事を無理なく円滑に行う。	2	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を祝日や土曜日に行い、多くの方が来園することができ、良いと思う。 ・事前に準備をし、行事を円滑に行うことができたので、来年も無理なく行えるようにしていきたい。 ・うんどう会の台風直撃が初めてだったので、雨天と台風だった時の日程が必要だと思った。 	
	支援センターともだちの開放、こひつじ文庫(はらぺこあおむしの会)、ショートステイなどを行い、園を広く知ってもらう。	7	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部から様々な保護者や子ども達が出て、笑顔で過ごしている様子が見られた。園のことをよく知ってもらうような働きかけをしていきたいと思う。 	
	日常の教師間の連絡体制	5	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・教師同志、長い時間話しこまないよう、議事録やノートなど活用。 ・012の教師会を以前のように行いたい。全体の教師会にも345のように何名かで参加したい。 ・SNSや電話ですぐに連絡をとれるよう体制を整えているので、引き続き環境を整えていきたい。 ・兄弟関係のこと、感染症のこと、なかなか伝わってこない。 ・012才は毎月、個別指導案の作成、児童票記入があり、大変ながら行ってくれているが、それを共有して保育に生かせるよう時間を作り、さらに大切にしていきたい。 ・教師会欠席時の教師会ノートの確認を習慣づけたい。 	